GYSE-P および PROFIBUS マスタシミュレータ の使用方法

# 目次

使用	準備	4
1 1	けじめに	1
1.3	ユーツトの接続	. Đ
通信	の準備と確認	6
2.1	モニタソフトウェアのインストール	6
2.2	通信設定	. 7
2.3	PROFIBUS機器のサーチ	. 8
2.4	スレーブアドレスの変更	. 8
3. <b>位置データの表示</b> 9		
	1.1 1.2 1.3 <b>通信</b> 2.1 2.2 2.3 2.4	1.2 使用機器

# 1. 使用準備

#### 1.1 はじめに

本資料は、サンテストの磁歪変位センサ GYSE-P を Bihl+Wiedemann 社製 PROFIBUS マスタシミュレータに接続する方法を解説したものです。

PROFIBUS シミュレータは、これから敷設するあるいは既設の PROFIBUS ネットワークシステムに接続し、PROFIBUS マスタ (通常は PLC です) に代わってパソコンから PROFIBUS スレーブのデータを確認や設定を行うことができるツールです。

PLC などの PROFIBUS マスタとの機能的な違い

- 複数のセンサとの同時通信はできません。複数のセンサが同一の PROFIBUS ネット ワークに接続している場合、一つのセンサを選択して通信することになります。
- スレーブの検索機能があります。
- スレーブの PROFIBUS アドレスを変更できます(PLC でもできるものもあります)。
- 通信速度は 19. 2kbaud で固定です。

#### 本書の解説範囲は、

- GYSE-P を PROFIBUB シミュレータに接続する方法
- GYSE-P のスレーブアドレスの変更方法
- GSD ファイルを利用してパソコンからデータを確認する方法

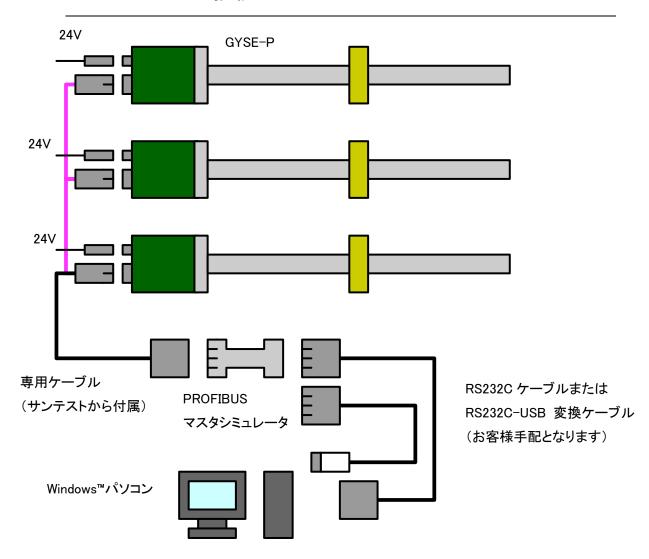
までです。その他の機能につきましては、ユーザーズマニュアルをご覧ください。 また、PROFIBUS についての一般的な技術情報は、日本プロフィバス協会の HP にあり ます技術情報をご覧下さい。

# 1.2 使用機器

サンテスト GYSE-P 磁歪変位センサ

Bihl+Wiedemann 社製 PROFIBUS マスタシミュレータ

### 1.3 ユニットの接続



注意 PROFIBUS マスタシミュレータと、GYSE-P 間の接続は、必ず専用ケーブルを使用して「直接」センサに接続してください(標準の Profibus ケーブルで中継してはいけません)。

複数の GYSE-P を接続する場合に、GYSE-P 間は通常の PROFIBUS ケーブルで接続してもかまいません。

# 2. 通信の準備と確認

### 2.1 モニタソフトウェアのインストール

弊社ホームページhttp://www.santest.co.jp/ja/product/index.phpより、

PROFIBUS マスタシミュレータ用ソフトウェア

pmsim4226.zip

をダウンロードして解凍してください。

Setupxxxx. exe (xxxx はバージョン番号です)

をダブルクリックして、モニタソフトウェアをインストールしてください。



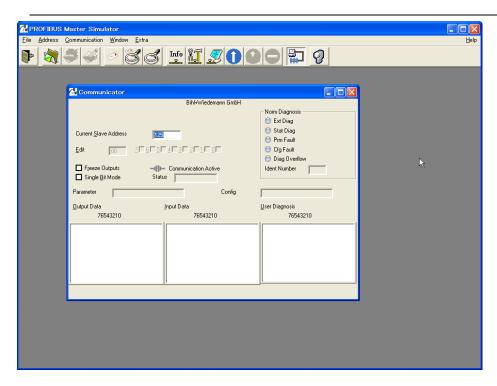




B

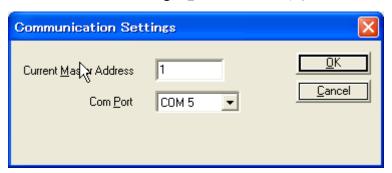
インストール後、Windows™のスタートメニューから、"PROFIBUS Master Simulator"を起動します。

## 2.2 通信設定



最初に、PCとマスタシミュレータの通信方法を設定します。 メニューの

*Communication→Settings* をクリックします。

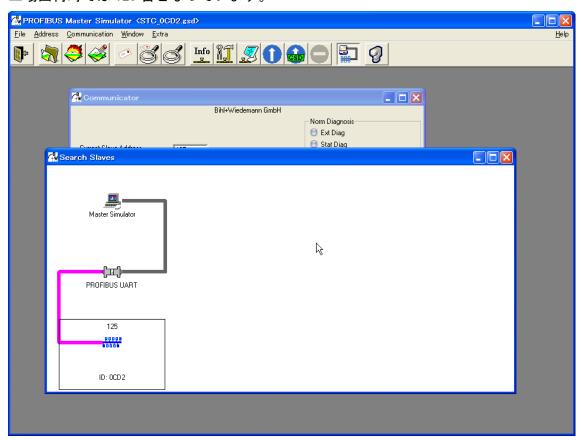


マスタ (PC になります) のアドレス (通常は 1) を設定し、さらに、 マスタシミュレータを接続した PC の COM ポート番号を設定して"OK"をクリックして ください。

### 2.3 PROFIBUS機器のサーチ

#### Address→Start Search PROFIBUS Slave Address

をクリックすると、接続されている PROFIBUS スレーブが表示されます(1 分程度かかります)。お使いの GYSE-P センサのアドレスが表示されることを確認してください。 工場出荷時では 125 番となっています。



## 2.4 スレーブアドレスの変更

接続されている GYSE-P の、スレーブアドレスを変更します。

変更したいスレーブの番号をクリックして、

Address→Change PROFIBUS Slave Address

をクリックします。

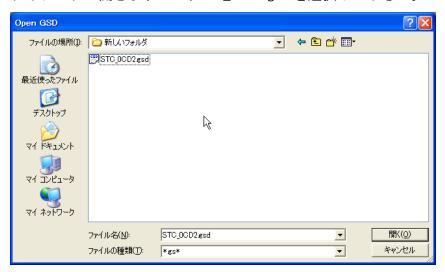
変更前のスレーブアドレスと、新しいスレーブアドレスをそれぞれ入力し、"OK"を クリックします(3~124番のなかで、マスタに近いほうから小さい値を設定するのが 適当です)。

# 3. 位置データの表示

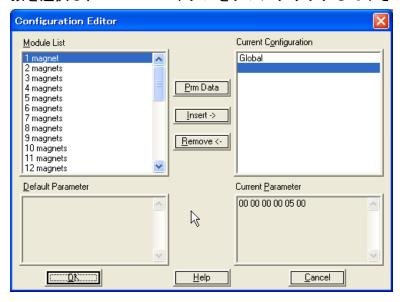
#### 3.1 GSDファイルの読み込み

GYSE-P 用の GSD ファイル (STC\_OCD2. gsd) を用意してください。

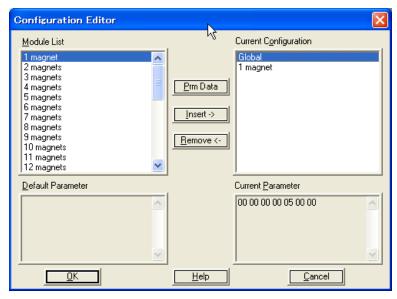
File 
ightarrow Open~GSD または、アイコン をクリックしてください。 ダイアログが開きますので、STC\_OCD2. gsd を選択して下さい。



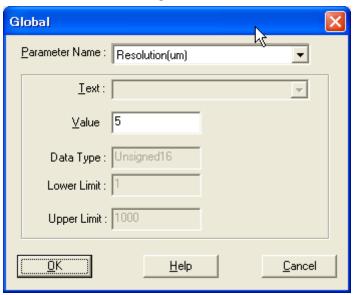
最初に、マグネット数を選択します。実際のセンサに取り付けられているマグネット数を選択し、"Insert" ボタンをダブルクリックして下さい。



次に、右のウィンドウで、"Global"をダブルクリックします。

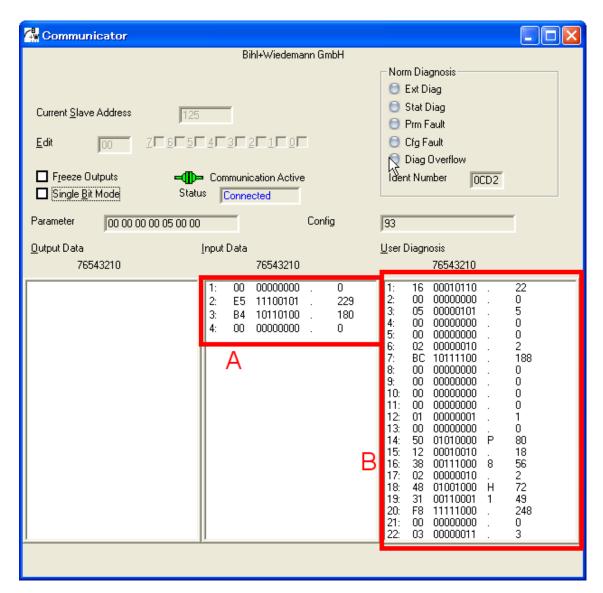


**Parameter Name** の Resolution (um) で、出力データの分解能を設定します。 同様に、Error handling、Measure direction、Data format を設定します。



最後に一番下の"OK"をクリックします。

通信を開始するには、*Communication→Start with GSD*か、アイコン をクリックします。



Aには、マグネット位置を示す 24bit のデータ (+ステータス) が、指定されたフォーマットで表示されます。

Bには、製造番号、設定された分解能などのセンサ固有の診断情報が示されます。詳しくは、GYSE-P取扱説明書をご覧ください。

本資料に記載された製品は、極めて高度の信頼性を要する用途(医療機器、車両、航空宇宙、原子力制御など)に対応する仕様にはなっておりません。そのような用途への使用をご検討の場合は事前に当社営業窓口までご相談ください。

当社は品質、信頼性の向上に努めてまいりますが、一般に電子機器は誤動作あるいは故障することがあります。当社製品をご使用いただく場合は、製品の誤動作や故障により、生命、身体、財産が侵害されることのないように、購入者側の責任において、装置やシステム上での十分な安全設計を行っていただけるようお願いします。

本製品の保証期間は納入後1年間といたします。万一、保証期間内に本製品に当社側の責に よる故障が発生した場合、ご返却いただいた製品を無償にて修理または代替品をお送りします。 ただし、下記の場合は保証の範囲外とさせていただきます。

- 不適当な条件、環境、取扱い、使用による場合
- 納入品以外の原因による場合
- 当社以外による改造または修理の場合
- 当社出荷当時の技術では予見することが不可能な現象に起因する場合
- 天災、災害などによる場合

また、ここでいう保証は納入された本製品単体の保証に限るもので、本製品の故障により誘発される損害は除外させていただくものとします。

#### GYSE-P および PROFIBUS マスタシミュレータの使用方法

2010年11月29日 第 1版発行

発行所: サンテスト株式会社

〒554-8691 大阪市此花区島屋 4-2-51

TEL: 06 (6465) 5561 FAX: 06 (6465) 5921

本書に記載の内容は、改良の為に予告なく変更することがあります。